

<平成 26 年度>

# 都市整備部の取り組み実績

都市計画課  
 都市整備推進室  
 連続立体交差課  
 開発指導室開発調整課  
 開発指導室開発審査課  
 開発指導室建築安全課

## ■ 基本方針 ■

都市整備部では、市民が安心・安全で快適に暮らすことができるまちの実現に向け、まちづくりの計画・規制・誘導を行うとともに都市基盤の整備を進めます。

平成 26 年度は、枚方市駅や民間建築物の耐震化を促進します。都市基盤整備の推進では、京阪本線連続立体交差事業の事業用地取得を開始し、枚方市駅周辺再整備ビジョンの推進に向け検討を進めます。また、開発行為や建築行為などを規制・誘導するとともに景観形成にも取り組みます。

## I 重点施策・事業

### ◆京阪本線連続立体交差事業

枚方公園駅付近から香里園駅付近（寝屋川市）までの延長 5.5 キロメートル（うち枚方市域は 3.4 キロメートル）の鉄道の高架完成を平成 40 年度を目標に、事業に取り組みます。なお、用地取得については、専門的ノウハウを有する民間機関を活用し、取り組みます。

	H26	H30	H35	H40
用地測量・境界確定	●●			
用地取得	●	●		
鉄道工事		●	●	●
側道工事				●●

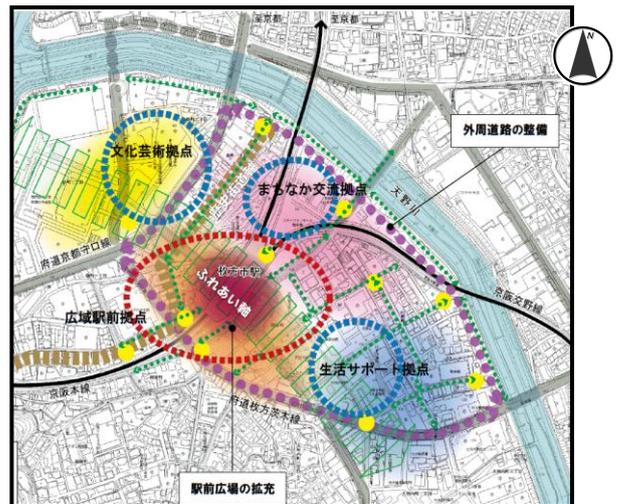
### 実績

・用地取得にあたり、事業範囲を確定するための用地測量や土地の境界確定作業を全区間で実施するとともに、順次、物件補償調査を実施し、土地価格、建物等の補償額算定を進め、5 件の用地取得を行った。

### ◆枚方市駅周辺再整備ビジョンの推進

本ビジョンの具体化を図るため、平成 26・27 年度の 2 ヶ年で本ビジョンに示す広域駅前拠点、まちなか交流拠点、生活サポート拠点の土地利用や事業手法等の検討、及び市駅北口歩行者動線の確保や外周道路の整備、北口・南口駅前広場の拡充など交通環境の改善に係る検討を行います。また、併せて地元検討組織等の設立に向けた支援を行います。

### ○ビジョンのイメージ



### 実績

・枚方市駅周辺再整備ビジョンの市街地整備や交通環境改善に係る調査検討を行い、地元権利者等との意見交換や地元検討組織等の設立に向けた支援を行うなど、本ビジョンの具体化に向けた取り組みを進めた。

### ◆枚方市駅耐震補強事業

駅利用者の安全確保を図るとともに、地震災害時における鉄道駅の緊急活動拠点機能を確保することを目的とし、平成 27 年度の耐震化完了に向け、鉄道事業者が行う京阪枚方市駅の耐震補強事業に対して国、府と協調し補助金を交付します。

#### 実績

- ・鉄道事業者が行う枚方市駅の耐震補強必要箇所 225 箇所の補強工事に対し、補助金を交付した。この結果、進捗率は約 70% となった。
- ・広域緊急交通路の機能維持を目的とする宮之阪架道橋柱部耐震補強工事 8 箇所について、補助金を交付した。

### ◆区域区分・用途地域等の一斉見直し

大阪府が実施する平成 27 年度の区域区分の一斉見直しに合わせ、本市においても計画的で良好なまちづくりを誘導することを目的に、区域区分をはじめ用途地域の都市計画変更に向け検討を進めます。

#### 実績

- ・都市計画変更の見直し検討を行い、都市計画変更原案の作成を行った。

### ◆景観計画及び屋外広告物の取り組み

景観法に基づく景観計画や、景観条例に基づく規制・指導を行い、地域の特性を活かした魅力ある景観づくりをめざし、市民・事業者への周知、啓発に取り組みます。

また、良好な景観形成をめざして、屋外広告物の調査に取り組み、地域の特性にあった市独自の規制について検討します。

#### 実績

- ・景観法に基づく景観計画及び景観条例について、広報、ホームページ等により周知するとともに、それらに基づく 30 件の届出等に対し指導を行い、良好な景観形成に努めた。
- ・屋外広告物条例の改正に向け、屋外広告物実態調査及び屋外広告物等に関する市民アンケートを実施し、市独自の規制の検討を行った。

### ◆住宅・建築物耐震化の促進

昭和 56 年 5 月 31 日以前に建築された住宅・建築物の所有者を対象とし、耐震診断・耐震改修設計・工事及び除却工事に要する費用の一部を補助し、耐震化促進をめざすとともに、平成 27 年度まで啓発文書の送付を行います。

#### 実績

《補助の内容》

- ・耐震診断：273 戸
- ・改修設計：48 戸
- ・改修工事：41 戸
- ・除却工事：28 棟

《啓発文書送付》

- ・耐震化への啓発と補助制度の案内に関する文書の送付：約 11,500 名

## II 行政改革・業務改善

＜行政改革実施プラン（前期）の改革課題＞

改革課題	取り組み内容・目標
14. 市域全体の建築物の耐震性向上（民間建築物の耐震化を促進）	補助制度の周知に努めるとともに、大阪府と連携しながら、住宅・建築物の耐震化率 9 割をめざす。

#### 実績

- ・平成 26 年度は約 11,500 名に案内文書の送付を行った。（平成 27 年度まで実施）
- ・平成 26 年度より、木造住宅耐震改修工事及び住宅除却工事の補助額を増額するとともに、耐震シェルター設置工事を補助対象とした。

改革課題	取り組み内容・目標
29. 外郭団体等における中期的な「経営プラン」の策定	包括外部監査の結果及び意見（経営プランの策定等）に対する措置が適切に講ぜられるよう進捗管理を行う。

#### 実績

- ・枚方市街地開発(株)では、本市の要請及び平成 25 年度の包括外部監査における意見に基づき、中期的な「経営プラン」を平成 26 年 10 月に策定した。

改革課題	取り組み内容・目標
39. 業務委託の拡大	京阪本線連続立体交差事業における用地取得業務の一部を外部委託化する。
<b>実績</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>権利者への補償内容の説明など、公共用地の取得交渉及びこれに関連する業務を総合的に行う業務として、用地補償総合技術業務等委託を行った。</li> </ul>	

<事務事業総点検に係る対応>

事務事業	取り組み内容・目標
枚方宿地区まちづくり協議会支援事業	まちづくり協議会の自立化に向け、段階的に法人化が図れるよう支援する。
<b>実績</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>まちづくり協議会の自立化に向け、各業務内容の見直しに取り組み、法人化に向けた準備を進めた。</li> </ul>	

事務事業	取り組み内容・目標
枚方宿歴史的景観保全地区修景助成事業	枚方宿地区において修景助成し、歴史的街なみの形成を効果的に進める。
<b>実績</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>1件の修景助成を行い、歴史的街なみの形成を進めた。</li> </ul>	

事務事業	取り組み内容・目標
町家情報バンク支援助成事業	賑わいづくりの定着に向け、五六市の安定的な運営への支援などに取り組む一方、助成事業の見直しを検討する。
<b>実績</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の実施はなかったが、引き続き、より効率的な事業手法について、類似事業との統合など、改善に向け検証を進める。</li> </ul>	

事務事業	取り組み内容・目標
歴史的景観保全事業	各年度毎の事業計画に合わせ人員体制の見直しを行う。
<b>実績</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度は、事業実施はなかったが、今後も各年度毎の事業計画に合わせ人員体制の見直しを行っていく。</li> </ul>	

事務事業	取り組み内容・目標
連続立体交差事業促進事務所管理事務	京阪本線連続立体交差事業を促進するための事務所として有効に活用し、適正に管理・運営等を行う。
<b>実績</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>事務所の維持管理に必要な警備、清掃等の業務委託を行った。</li> <li>また、旧蹠陀保育所の講堂の跡地を地域へ暫定的に開放するため、広場として整備を行った。</li> </ul>	

<業務改善のテーマ・目標>

テーマ	取り組み内容・目標
連続立体交差事業の説明内容の統一	用地取得に係る市民への説明は職員、民間委託業者の双方が行うため、職員と民間委託業者間で説明内容を統一するなど、知識、情報の共有化を図る。
<b>実績</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>新規配属職員及び役務委託業者を対象に研修を行ったことで、事業内容の理解を深め、知識、情報の共有化を図ることができた。</li> </ul>	

テーマ	取り組み内容・目標
事務内容の継承	担当する事務のマニュアルを更新し共有化する。
<b>実績</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>新規配属職員を中心に部内全体で研修を行い、マニュアルの共有化を行った。</li> <li>制度改正等に伴うマニュアルの更新を行った。これにより、円滑に業務を遂行することができた。</li> </ul>	

### Ⅲ 予算編成・執行

- ◆鉄道事業者が実施する京阪枚方市駅の耐震補強事業に対し平成 25 年度に引き続き補助金の交付を行います。（予算額 1 億 4 2 7 5 万円）

#### 実績

- ・鉄道事業者が行う枚方市駅及び宮之阪架道橋の耐震補強工事に対し補助金を交付した。（1 億 3 3 9 5 万円）

- ◆京阪本線連続立体交差事業の用地取得を迅速かつ円滑に進めるため、用地取得業務を外部委託します。（予算額 5 1 0 0 万円）

#### 実績

- ・連続立体交差事業の用地取得を迅速かつ円滑に進めるため、用地取得業務委託を行った。（平成 26 年度支払額 1 5 9 5 万円）

- ◆枚方市駅周辺再整備ビジョンの具体化を図るため、平成 26・27 年度の 2 ヶ年で本ビジョンに示す各拠点の整備や交通環境の改善に係る検討を外部委託します。（予算額 5 0 0 0 万円）

#### 実績

- ・枚方市駅周辺再整備ビジョンの具体化を図るため、市街地整備及び交通環境改善に係る調査検討業務を発注した。（契約額 2 3 4 5 万円）

### Ⅳ 組織運営・人材育成

- ◆京阪本線連続立体交差事業については、満足度の高い説明・対応に向け、職員が連携を図り、取り組みに係る進捗管理の徹底を行います。

#### 実績

- ・課内会議等において、進捗管理を図る中で、各地区における課題を抽出し、業務に関する情報の共有化を図ることで、権利者に対して円滑な説明・対応を行うことができた。

- ◆開発指導や建築指導に係わる大阪府内の協議会への積極的な参加により、担当職員の資質向上に努めます。また、市街地開発事業等の技術的援助を行うため、研修成果の職場での共有化を行います。

#### 実績

- ・開発指導や建築指導に係わる協議会（大阪府開発指導行政協議会、近畿ブロック開発許可・宅地防災行政連絡協議会、近畿建築行政会議）や都市計画協会主催の研修に参加し、研修成果について職場で共有化を行った。これにより、職員の資質向上が図れた。

- ◆災害時の緊急対応を強化するため、災害出動班の再編成や研修の充実等により、職員の意識啓発を行います。また、災害時における建築物や宅地の安全確認を行う危険度判定士を育成し、資格取得者の増員を行います。

#### 実績

- ・被災宅地危険度判定士として 7 名、被災建築物応急危険度判定士として 9 名、被災建築物応急危険度判定コーディネーターとして 3 名が新規に資格を取得した。これにより職員の危機管理意識の向上が図れた。

- ◆部に新たに配属された職員を対象に都市整備部の業務内容について研修を行い、職員の資質向上に努めます。

#### 実績

- ・新規配属職員及び新入職員を対象に部の業務内容について研修を実施した。
- ・「担当している業務内容」をテーマに新入職員によるプレゼンテーションを実施した。これにより職員の資質向上が図れた。

## V 広報・情報発信

- ◆常に最新の情報となるようホームページの掲載内容の更新を行い、速やかな情報発信に努めます。

特に京阪本線連続立体交差事業及び住宅建築物耐震化促進などの部の重点施策や、防火・避難に係る立入調査、サービス付き高齢者向け住宅の登録などの取り組みについてもホームページや広報ひらかたを活用し、迅速かつ分かりやすい情報発信に努めることで、きめ細かい行政サービスを実現します。

### 実績

- ・連続立体交差事業について、事業の概要や用地取得の流れなどをホームページに掲載した。
- ・サービス付き高齢者向け住宅について、住宅への入居情報や、事業者に向けた手続き情報などの案内をホームページに掲載した。
- ・住宅建築物耐震化促進や全国一斉に実施される建築物防災週間についてホームページ等により周知した。  
これにより耐震診断の件数が増加するなど、市民の安全安心に対する意識が向上した。

- ◆景観計画及び景観条例の施行に伴い、景観シンポジウム等を実施するなど、景観施策を広く周知すると共に普及啓発に努めます。

### 実績

- ・平成 26 年 11 月 14 日に近畿景観シンポジウムを枚方市で開催し、景観施策等を広く周知した。